

事後学習（ 年 月 日 ）

世界遺産や明治日本の産業革命遺産、

「官営八幡製鐵所」を学んで、自分の考えをまとめよう

現地で学んだことを思い出しながらか、印象に残ったものを描いたり、写真やパンフレットを貼ろう。



現地で学んだことを通して、見聞きしたことや自分の意見や疑問を書き込み、自分の考えをまとめよう。

Handwriting practice lines for notes.



世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼・造船・石炭産業」

学習ノート

～官営八幡製鐵所編～



官営八幡製鐵所日本事務所 (写真提供: 日本製鐵(株)九州製鐵所)

世界遺産とは、地球上にある歴史的な建造物や遺跡、人間が生み出すことができない自然景観や地形などの「人類共通の宝物」のことです。私たちは、この宝物を国や民族を越えて、後世に守り伝えなければなりません。

福岡県には、2015（平成 27）年に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」と 2017（平成 29）年に登録された「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の2つの世界遺産があります。

このワークブックでは、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」について学びます。



Form for school name and student information.

事前学習 (年 月 日)

「明治日本の産業革命遺産」について調べよう



「明治日本の産業革命遺産」
福岡県
オンラインミュージアム

「明治日本の産業革命遺産」とは

- 「明治日本の産業革命遺産」は、最初に () で始まった産業革命が、ヨーロッパやアメリカ以外の地域で初めて成功したことを示しています。
- 日本では、() 時代の終わりから明治時代にかけて、外国の技術を学び、また、自分たちで技術を改良し、約() 年という短期間で、重工業(製鉄・製鋼(鉄をつくること)、造船(船をつくること)、石炭産業(燃料となる石炭を掘ること)を発展させました。
- 「明治日本の産業革命遺産」は、8県11市に広がる() かの施設などを一つにまとめたものです。
- 2015(平成27)年、() で初めて、今でも動いている工場を含む世界遺産が誕生しました。

福岡県の「明治日本の産業革命遺産」について

- 福岡県には、() 市に「官営八幡製鐵所」、() 市に「遠賀川水源地ポンプ室」、() 市に「三池炭鉱・三池港」があります。
- 「官営八幡製鐵所」と「遠賀川水源地ポンプ室」は() に関する施設、「三池炭鉱・三池港」は() に関する施設があります。

資料(ホームページ、パンフレットなど)から気になった言葉や関心を持ったことを書き、話し合おう。

現地学習 (年 月 日)

「官営八幡製鐵所」について、

現地で学んだことや気づいたことを書こう。

- 1 日本では、() 時代に入ると、鉄道や水道などに使う鉄が大量に必要となったため、() で鉄を作ることを目的として、官営八幡製鐵所は建てられました。
- 2 鉄を作るために必要な() が多く掘り出される筑豊炭田が近くにあるなどの理由から、官営八幡製鐵所は八幡村(現在の北九州市八幡東区)につくられました。
- 3 旧本事務所は、中央にドームがあり、赤い() でできています。屋根には() があり、西洋と日本の建築様式が合わさっています。
- 4 官営八幡製鐵所には、旧本事務所のほか、() 工場や() 工場があります。

現地で見たことや聞いたこと、気づいたことから感じた特徴などを書こう。

	特徴	感想
 見たこと		
 聞いたこと		
 気づいたこと		

